

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘 睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 藤島 洋介、地域包括支援センター 佐藤 修子、保険年金課長 田沼政司

1. 基本施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

第1次滝沢市総合計画において、市は「幸福感を育む環境づくり」を目指すこととしています。同計画のアンケートにおいて、幸福感を判断する重要事項として最も高かったのが「心身の健康」という結果でした。市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、「心身の健康」は大切な条件の一つであり、また、病気や障がいがあっても、その人の考える健康の実現は、その人らしく豊かな人生を送るために重要です。市民一人一人が健康に関心を持って、生涯を通じて主体的な健康づくりに取り組めるような環境を整備するとともに、個人や家庭だけではなく、自治会等の地域や関係機関、行政が一体となって互いに支え合いながら健康な地域、健康な滝沢市を目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60	D	
			57	58.4	58.4	58.4	58.4	44.8	
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	65	D	
			58.2	55.8	58.5	61.3	61.3	38.3	
3	暮らし 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	56.2	59	60	61	62	62	A	
			58.1	59	83.2	68.5	68.5	212.1	

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)	
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60	D	
			57	58.4	58.4	58.4	58.4	44.8	
2	幸福 02060100 望ましい生活習慣の定着 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	65	D	
			58.2	55.8	58.5	61.3	61.3	38.3	
3	暮らし 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数 単位 回	87	87	88	89	90	90	A	
			86	174	245	106	106	633.3	
4	幸福 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	65	D	
			58.2	55.8	58.5	61.3	61.3	38.3	
5	暮らし 02060300 安心し子どもを産み育てるための支援 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	56.2	59	60	61	62	62	A	
			58.1	59	83.2	68.5	68.5	212.1	

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘 睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 藤島 洋介、地域包括支援センター 佐藤 修子、保険年金課長 田沼政司

2. 基本施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう各種検診事業を実施しました。また望ましい生活習慣定着のため、健康づくり支援者や体育協会等と連携し、地域での教室や運動教室の開催等健康情報の提供に努めました。平成30年度は「滝沢市健康づくり宣言」を行い、その参加団体として134団体が登録し、地域・団体・企業・行政が一体となった健康づくりに関する啓発を実施しました。30自治会全てで地域健康づくり連絡会を開催し、地域の健康課題の共有が図られました。 ・妊娠にかかる経済的支援として、特定不妊治療助成事業の継続、妊婦個別健診の実施及び県外利用についても便宜を図りました。産まれてきた子どもたちが健やかに育つよう、乳幼児健診や予防接種等の健康支援と共に、乳児全戸家庭訪問事業を行い、母子の状況を把握・早期支援に努めました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】・受診しやすい検診・健康づくりに取り組む市民の増加・地域との連携を強化した健康づくりの推進・妊娠出産への支援の充実・乳児全戸訪問事業の継続とフォロー体制の強化・育児支援事業の充実</p> <p>【達成状況】・各種がん検診の受診率は、肺がん検診以外は減少しました。「滝沢市健康づくり宣言」を行い地域一丸となった健康づくりの啓発を行いました。また地域健康づくり連絡会により、地域ごとの取り組みを協議し、実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの体制を整備し、支援が必要な妊産婦への早期支援に努めました。また、乳児全戸訪問事業により産後のメンタルヘルス支援を行い、虐待防止に努めました。療育教室等の開催により育児不安の軽減に努めました。 	

3. 基本施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加に伴い、虚弱な方には適さない胃がん検診等は受診者が減少しています。また、超高齢社会を見据え、壮年期からの健康づくりや地域で声をかけ合える環境づくりが重要です。 ・健康づくり支援者については、高齢化による登録者の減少や養成後の活動につながらない等の課題があります。 ・未婚や若年妊婦等、支援が必要な妊婦が増加傾向にあります。また全国的に児童虐待による死亡事例が報告されていることから、乳幼児健診や予防接種の実施状況から所在が確認できない乳幼児がいる場合には、関係機関と連携し適切な対応が必要です。 ・国の動向として、子育て世代包括支援センターと合わせて、産前・産後サポート事業や産後ケア事業など妊娠から子育て期にわたるまでの支援体制の充実が求められています。 	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが幸福を実感できる地域」を目指す本市において、市民が幸福を実感するための条件として「心身の健康」が第1位であることから、更なる、個人の健康づくりの動機付けとなる啓発と住民協働による健康な地域づくり、市民が健康づくりを進めやすい環境整備に努める必要があると考えます。 	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和2年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>少子高齢社会に向けて、健康寿命の延伸を目標に個人ばかりではなく地域・団体・企業等が一丸となって取り組む健康づくりを目指します。また妊産婦及び乳幼児家庭の抱える課題が多様化しており、妊娠期からの切れ目ない支援体制の強化が必要です。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代からの健康づくりを推進できるよう、参加しやすい教室等健康づくりの環境整備 ・地域での健康づくりがより強化できるよう「地域健康づくり連絡会」と「地域づくり懇談会」との連携開催の検討 ・子育て世代包括支援センターの円滑な運営、産後ケア事業等妊娠期からの切れ目ない支援体制の強化に向けた検討 	

